



R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長: 松尾 文隆 幹 事: 安福 竜介
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 十八親和銀行 佐世保本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場: レオプラザホテル佐世保(毎週水曜日) TEL 0956-22-4141
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail: src@circus.ocn.ne.jp

令和 7 年 9 月 17 日

第 3,589 回例会

NO 11

《本日》会員数 82 名(出席規定免除 21 名)・出席 44 名・欠席 38 名・(内免除者欠席 12 名)・ビジター 0 名・出席率 53.66 %
ゲスト 2 名
《9月 3日》会員数 82 名(出席規定免除 21 名)・出席 61 名・欠席 21 名・(内免除者欠席 11 名)・メイクアップ 0 名・修正出席率 85.92 %

会 長 挨 拶

会長 松尾 文隆

皆さん、こんにちは。本日も例会に出席いただきありがとうございます。

日本のロータリークラブでの呼称を「君」付けで呼ぶのは、おそらく国会議員の呼称に由来していると思います。

初代内閣総理大臣伊藤博文氏が幕末の松下村塾で学んだ際、創設者の吉田松陰が武士・農民・町民の身分にとらわれず、平等に学ばせるため塾生の呼称に「君」を用いたことから、国会でも議員の呼称に「君」を用いたと言われています。

佐世保ロータリークラブでは、現在、「さん」の呼称ですが、十数年前に遡ると「君」の呼称で表記がありました。

他クラブへのメイクアップに伺うと、「君」呼称が多いように思われます。何か目上の方に「君」呼称は、気が引けるのは私だけでしょうか？

地区の会合でも〇〇委員長〇〇君と紹介されるのがほとんどではないかと思います。

地区の会合と言えば、10月25日は地区大会本会議の日です。今年度は30数名の会員に出席いただけるよう登録していただきました。当クラブは、伝統と格式、会員数からしても2740地区を牽引する気概を持たなければならないと思います。

数年先には、地区ガバナーの輩出も当然



の如く求められるでしょう。一旦登録受付は終了しましたが、まだ追加登録も可能です。若い世代の会員の方には、是非とも地区大会に参加して研鑽を積むと共に、来るその日に備えていただきたいと思います。

例 会 記 録

○ロータリーソング「奉仕の理想」

○ゲスト

海上自衛隊佐世保地方総監

海将 福田 達也 様
一等海尉 唐川 航輝 様

幹 事 報 告

幹事 安福 竜介

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

★ハイライトよねやま306号★

2025年9月12日 発行

https://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight306_pdf.pdf

ロータリー 3 分間情報

宮川 誠

本日は、ロータリーの友2025年7月号に掲載されている「PICK OUT PROJECT」の、平和フェロー災害から学ぶについて紹介させていただきます。



国際基督教大学に設立されたロータリー平和センターは、ロータリー平和プログラムの一翼を担いながら、20年以上にわたり歩み続け、これまでに200人を超える平和フェローたちを世界へと送り出し、その多くが各地で平和の実践者として活躍しているとのこと。

この歩みの中でフェローたちに深い印象を残してきたものが被爆地を訪れ、被爆者の証言に耳を傾けることと被災地を訪れ、復興の歩みと地域の声に触れることで平和を学んでいるとのこと。

海外では災害が武力紛争を引き起こしたり、既存の社会的不平等をさらに顕在化させたりする事例もあり、災害は平和構築のための課題でもあるとのこと。

そうした認識の下で、その地域を訪れることで「戦争の記憶」と「災害の経験」、2つの異なる事柄より平和を学ぶことができたとのこと。

戦争と災害の2つを継承していくことで「ロータリーの平和を育てる」という志を胸に世界へ羽ばたき、各地で実践をしていくとのこと。

今年は戦後80年とその当時を知る方からの経験を聞くことができる機会が少なくなってきましたが、決して忘れてはいけないこととして後世にしっかり繋げていく必要があります。

先日の卓話で話をしましたが、商工中金は戦前から存在し、長い歴史の中で戦争や震災による復興支援を行ってきました。

東日本大震災の際には津波で全てを流され、多数の方が融資相談に来られ、返済条件の変更だけでも、月50件を超えたそうです。また、ガスや水道がストップして事業が行えない企業の方々から「この先1年分の運転資金を貸して欲しい」というご相談の電話も鳴りやまなかったとのこと。職員自身もライフラインが断たれている中、全員が思いを一つにし、無我夢中で対応していたとのこと。

7月には南海トラフ地震防災対策推進地域

に長崎県内においても8つの市と町が追加されました。南海トラフ地震防災対策推進地域とは南海トラフ地震が発生した場合、震度6弱以上または津波3m以上の恐れがある地域を政府が指定したものになります。

「命を守る対策」と「命をつなぐ」対策を日頃から備えていきましょう。

以上3分間情報でした。ご清聴ありがとうございます。

慶 祝

出席委員会 福田登志也

○永年会員表彰

中島 祥一 さん (41年)

高田 俊夫 さん (31年)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 橋高 秀和

松尾	文隆	会長、筒井	和彦	副会長
安福	竜介	幹事、内海	暢邦	副幹事
草津	栄良	さん、出端	隆治	さん
松本	祐明	さん、宮川	誠	さん
高木	明生	さん、橋高	克和	さん
稲吉	修	さん、今吉	俊博	さん
古賀	巖	さん、本岡	眞	さん
山下	忠則	さん、松尾	貴	さん
廣瀬	章博	さん、長島	正	さん
福田	金治	さん、坂元	崇	さん
増本	一也	さん、木村	公康	さん
福田登志也	さん、田中丸善保	さん		
船越	温	さん、芹野	隆英	さん

梅村尚一郎 さん、納所 佳民 さん
中村 徳裕 さん、山縣 千穂 さん

名誉会員 海上自衛隊 佐世保地方総監
海将 福田達也様の卓話に大いに期待してニコニコします。

高田 俊夫 さん、

永年会員表彰のお祝いをいただき、ありがとうございます。

ニコニコボックス	◇	
前回累計		507,000円
本日合計		31,000円
累 計		538,000円

卓 話

「佐世保地方隊の概要」

海上自衛隊 佐世保地方総監
海将 福田 達也 様

沿革

佐世保地方総監部の前身とも言える帝国海軍佐世保鎮守府は、明治22年に設置が決定され、翌23年に明治天皇ご臨席のもと開庁式が挙行されました。昭和20年6月28日から翌29日にかけての米軍B-29爆撃機による「佐世保大空襲」で佐世保鎮守府庁舎が焼失しました。終戦後米軍進駐を経て、昭和27年に海上自衛隊の前身である「海上警備隊」が発足。昭和28年、警備隊佐世保地方隊が新編され、昭和29年、海上自衛隊の発足に伴い、海上自衛隊佐世保地方隊に改編されました。その後、昭和43年に佐世保地方総監部は、佐世保鎮守府跡である現在地に移転しております。令和元年に佐世保鎮守府開庁130周年を迎え、令和4年に海上自衛隊が創設70周年を、令和5年に佐世保地方隊が創設70周年を迎え、現在に至っております。

任務・組織・編成

海上自衛隊では、主として自衛艦隊が作

戦を実施し、我が国周辺海空域において、護衛艦、哨戒機等を機動的に運用し各種任務に従事します。一方、佐世保地方隊は、担当警備区、すなわち、北は「山口県」から南は「沖縄県」に至るまでの地域及び海域において防衛警備、災害派遣等の任務に従事しています。また、佐世保地方隊は、自衛艦隊等の部隊運用を支援するため、幅広い後方支援任務を遂行しています。

佐世保地区に所在する部隊の配置について説明します。ここ佐世保では、各部隊が点在しているのが特徴といえます。立神地区に所在する部隊は、「佐世保造修補給所」、平瀬地区に所在する部隊は、総監部のほか、「佐世保基地業務隊」、「佐世保衛生隊」、「佐世保音楽隊」、倉島地区に所在する部隊は、「佐世保港務隊」、多用途支援艦「あまくさ」、崎辺地区に所在する部隊は、「佐世保教育隊」、「佐世保警備隊」、「第3ミサイル艇隊ミサイル艇（おおたか・しらたか）」、「佐世保水中処分隊」、「水中処分母船5号」、「佐世保弾薬整備補給所」です。

また、崎辺地区には、相浦に拠点を置く陸上自衛隊水陸機動団の隷下部隊である「水陸機動団戦闘上陸大隊」が所在しております。

次に佐世保警備区に所在する他の部隊について説明します。佐世保市には海上自衛隊全体の約3分の1の艦艇部隊が所在しています。また、艦艇部隊のみならず、航空部隊も所在しており、長崎県大村市に、哨戒ヘリコプターを主力とする第22航空群が、鹿児島県鹿屋市に、固定翼哨戒機を主力とする第1航空群が、沖縄県那覇市に、同じく固定翼哨戒機を主力とする第5航空群が所在しています。なお、佐世保警備区で勤務する他部隊隊員の総数は、約7,500名であり、佐世保地方隊の隊員と合わせると、約1万名に達します。

部隊運用

中国の東シナ海、西太平洋での活動状況については引き続き、活動を質・量ともに急速に拡大・活発化させています。海上自

衛隊は平素から我が国周辺海域におけるこうした他国軍による軍事活動を把握し、脅威が及ぶことを抑止するため、24時間365日、警戒監視任務を実施しています。佐世保地方隊は、主として対馬海峡、大隈海峡、沖縄周辺海域において領域警備の観点から警戒監視の任務を遂行しています。

災害派遣については、梅雨の時期や台風に伴う派遣が多く、例年、県庁の災害対策本部に連絡官を派出しています。また、令和3年8月九州北部豪雨では、大規模な河川の氾濫があり、ゴムボートを使用した孤立地区の住民救助活動を実施しました。なお、能登半島地震に際しては、石川県七尾市に入浴支援隊を派遣しております。大規模な災害が発生した場合に備え、防衛省・自衛隊は、いかなる被害や活動にも対応できる態勢を維持しています。

次に、佐世保地方隊における、爆発性危険物の処理について説明します。第二次世界大戦中に米軍が日本周辺に投下した機雷は、約12,000個と言われており、今なお約1,500から2,000個が残存していると言われています。また、激戦地となった沖縄県では、艦砲射撃や空襲で使用された弾薬のうち、約1,950トンもの不発弾が残存していると言われています。沖縄県内においては、毎年度、爆発性危険物が発見され処分されています。このように、戦後80年を経過した今もなお、処理は継続しています。

訓練・教育

米軍・海上保安庁・自治体との連携を強化するため、定期的に共同で訓練や意見交換等を実施しています。引き続き自衛の能力の向上及び自治体や関係機関との連携の強化に努めます。

佐世保教育隊は、海上自衛隊に入隊した新隊員教育を実施しています。令和5年度は394名、令和6年度は340名の入隊者を得ましたが、採用計画数に対し十分な人数を確保できていません。また、中途退職する隊員も一定数存在しています。佐世保地方隊では、入隊者数を確保するため、ハラスメン

トの根絶を含む、良好な勤務環境を構築するなど、組織への変革に取り組んでいます。

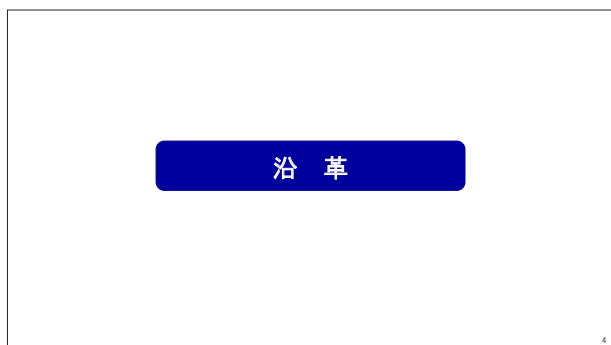
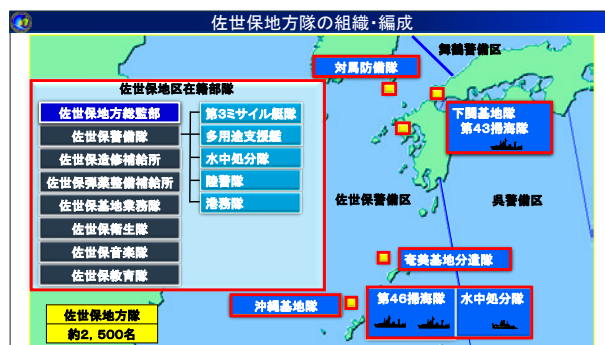
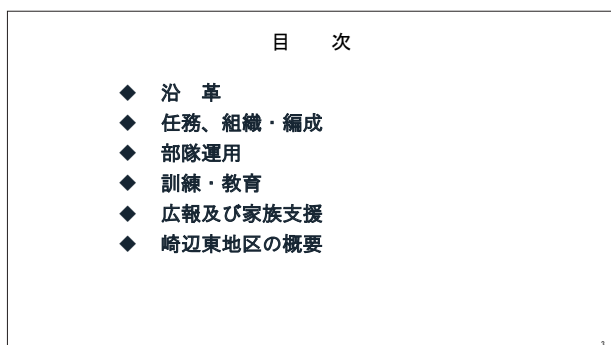
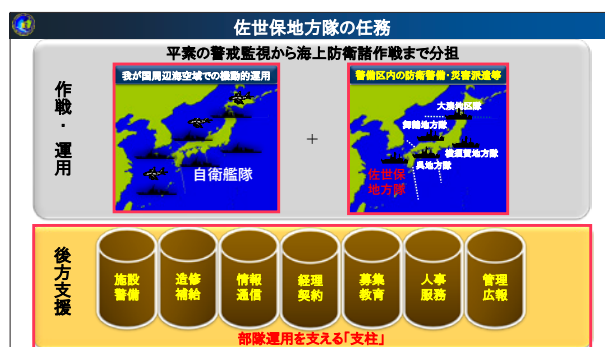
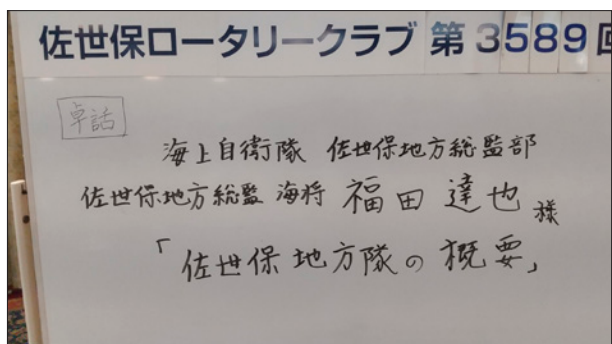
広報及び家族支援

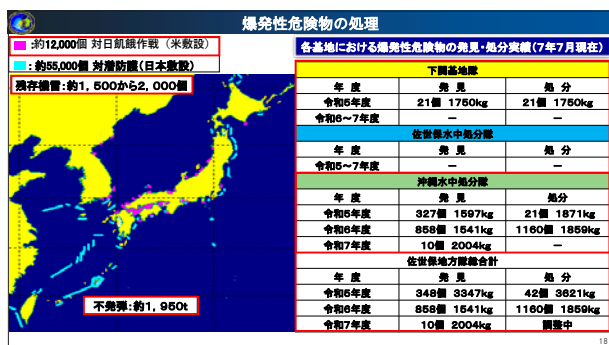
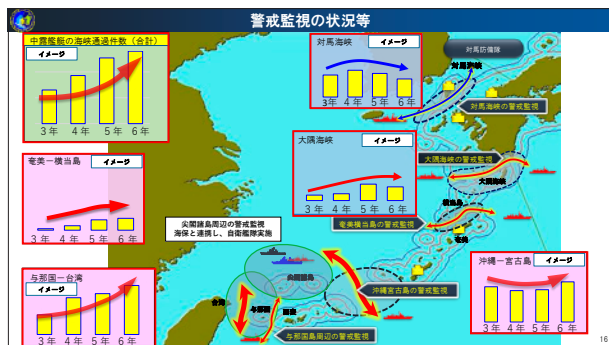
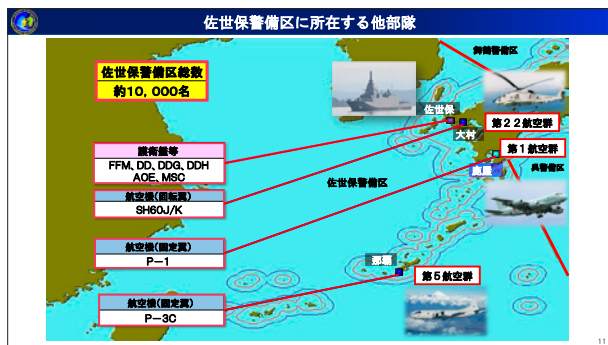
令和5年度における募集・採用の危機的状況を踏まえ、令和6年度は、各種イベントを精力的に実施しました。「サマーフェスティバル」については、7月下旬の土日の二日間にわたり、護衛艦と潜水艦による一般公開と佐世保音楽隊によるコンサート、護衛艦による体験航海を実施、海上自衛隊に対する理解の深化と募集対象者の獲得に取り組み、13,000名を超える皆様に御来場いただきました。

家族支援については、隊員が安心して任務に専念できるよう、様々な施策を実施しています。海外派遣部隊の留守家族への支援として海外派遣前の家族説明会等を実施しています。また、隊員が不在となる間の家族の相談窓口として、総監部厚生課内に設置している「家族支援センター」を紹介しています。家族支援センターは、派遣部隊のみならず、隊員御家族からのあらゆる電話相談に対応しており、年間の相談件数は150件を超えています。

崎辺東地区の概要

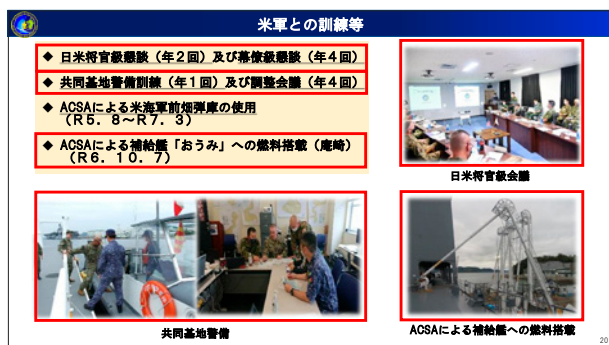
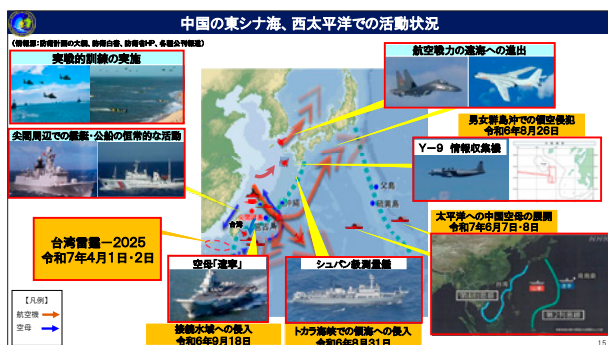
昨今の情勢に鑑み、佐世保地区を南西諸島方面での作戦における後方支援基盤と位置づけ、崎辺東地区を効果的に活用していきます。したがって、令和7年度末に新編される海上自衛隊の水陸両用戦・機雷戦群と陸上自衛隊の水陸機動団の連携の強化に資するべく、崎辺東地区において陸上自衛隊の水陸機動団崎辺分屯地との連携を進化させていきます。このため、崎辺東地区に艦艇等が係留可能な大規模な岸壁を整備し、併せて陸上部分に後方支援施設を整備する予定です。海上自衛隊佐世保地区は、部隊の改編と崎辺東地区の整備により、自衛隊にとって、より重要な作戦基盤となっていきますので、引き続き地域の皆様の御理解と御支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。





部隊運用

訓練・教育



自治体及び海上保安庁との訓練			
防災訓練			
訓練	態 様	昨年度実績	
自然災害	船舶による離島住民避難・孤立者救助、陸上災害派遣部隊の派遣、入港支援セットの展示等	5月 長崎、鹿児島、山口 6月 福岡 9月 佐世保 11月 鹿児島 12月 熊本	
原子力災害	原子力発電所事故発生時の陸上演習（玄海原発、川内原発）	11月 福岡、佐賀、長崎 2月 鹿児島	
海上保安庁との共同訓練等			
訓練	態 様	昨年度実績	
不審船対処訓練等	海保七管、十管、十一管と隔年で実施	1回 (3ミサイル艇ノ十管)	
合同潜水訓練	警備隊(水中処分隊)が年1回を標準に実施	1回(長崎)	
通信訓練	海保七管、十管、十一管との協定に基づき実施	34回	
防火訓練	海保からの委託教育として佐世保教育隊防火訓練場において実施	1回	



家族支援

留守家族への支援

- ◆ 各種行事への参加支援（あさひ及びはるのさめ出国行事：約1000人）
- ◆ 海外派遣前の家族説明会（参加家族：約50人）
- ◆ 家族相談窓口業務（「家族支援センター」による電話対応）（令和6年度：151件、令和7年度：約40件）

事故発生時の家族対応

【御家族への丁寧かつ誠実な対応】

- ◆ 家族支援センターによる不安・不満の解消
- ◆ 対面による説明
- ◆ 速やかな公務災害認定

出国行事支援

家族説明会

教 育

教育入隊者数（ ）内は女性学生数（内職）

区 分	自衛官候補生	一般海官候補生	合 計
入 隊 者	95	299	394
5年度	(24)	(52)	(76)
6年度	95	254	349
入 隊 者 数	(17)	(38)	(55)

◆ 十分な入隊者数を確保できない（計画数の平均約75%）
◆ 中途退隊する隊員も一定数存在

各課取組

【流出防止のための方策（隊員のモチベーション向上）】

【入隊者確保のための方策】

ハラスメント根絶を含む良好な勤務環境を構築し、良質な若者に選ばれ
る組織への要素

- ◆ 隊員のワークライフバランス推進
- ◆ 若者世代に合わせた基礎教育
- ◆ 継続教育を通じて誇りと使命感の醸成
- ◆ 補職時における隊員の希望と組織の要求のマッチング

入隊式

海面訓練

修業式

崎辺東地区の概要

広報及び家族支援

崎辺東地区施設整備の概要(1/2)

○南西における情勢に鑑み、佐世保地区を南西方面における後方支援基盤と位置づけ、**崎辺東地区を効果的に活用**

○崎辺東地区における陸自の水陸両用部隊との連携を図るべく、崎辺東地区には、**艦艇等が保管可能な大規模な岸壁等を整備**併せて陸上部分に**後方支援施設を整備**

広 報

令和6年度実績 方針：広報ツールの包括的活用/地本との連携強化

イベント名	実施内容	人 数
サマーフェスティバル 7月27日(土) ・28日(日)	艦艇一般公開 音楽隊演奏 体験航海	来場者 約13,370名
艦艇広報・体験航海(5回)		果 計 約31,000名
倉島岸壁一般公開(23回)		
移動採用広報(23回)		果 計 約20,000名
音楽隊コンサート(27回)		
SNSコンテンツ積極的情報発信		フォローアーク 約41,500名 (令和7年6月現在)

サマーフェスティバル

移動採用広報

音楽隊コンサート

地域プロサッカーチームとのイベント

崎辺東地区施設整備の概要(2/2)

埋立約4ha
水深:水深11mを確保
完成予定時期:令和11年度

広 報

令和7年度計画

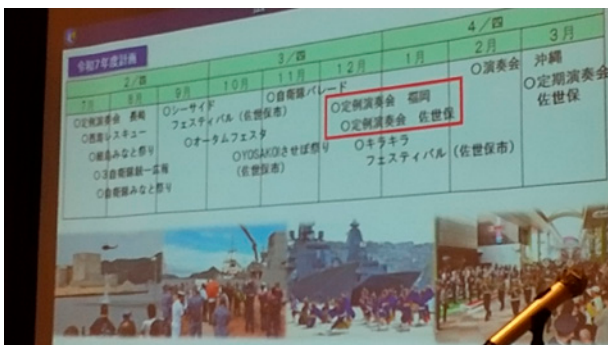
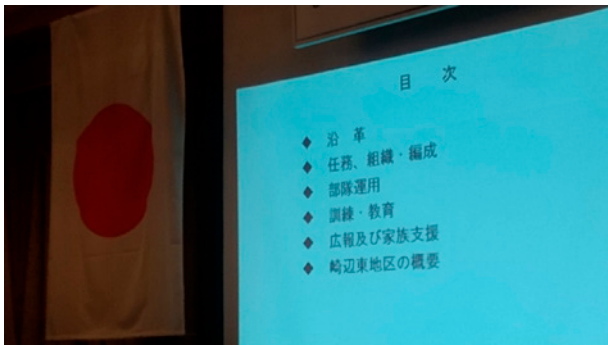
2/4	3/4	4/4
7月 ○定例演奏会 長崎 ○西海レスキュー ○細島みなと祭り ○3自衛隊統一広報 ○自衛隊みなと祭り	9月 ○シーサイドフェスティバル(佐世保市) ○オータムフェスタ ○YOSAKOIさせぼ祭り(佐世保市)	10月 ○自衛隊パレード ○定例演奏会 福岡 ○定例演奏会 佐世保 ○キラキラフェスティバル(佐世保市)

西海レスキュー2025

YOSAKOIさせぼ祭り

自衛隊パレード







*** 今後の例会予定 ***

9月24日 新会員卓話 林 魁愼 さん

*** 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 ***

未定

*** 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 ***

未定

* 西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、
メイクアップにもなりますのでご活用ください。

* RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をい
たしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：梅村尚一郎 カメラ担当：船越 温)

クラブ会報・広報委員会

委員長：梅村尚一郎
副委員長：指山 立

委員：谷川辰巳・船越 温・本岡 眞
安達幸太・長島正太郎